

平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立南平高等学校		全日制課程		進路実績	4年制大学	81.8%	短期大学	1.9%	専門学校	4.2%	就職	0.6%	その他	11.5%		
		謳え青春 築け夢 高い志を胸に						国公立・難関私立大(GMARCH以上)117人合格(現役)										
基本情報	所在地	〒191-0041 日野市南平八丁目2番3		電話番号	042-593-5121		基	主な部活動									陸上競技部、硬式野球部、サッカー部、ハンドボール部、ソフトボール部、バドミントン部、女子バレーボール部、硬式・軟式テニス部、吹奏楽部、室内楽部、合唱部、ジャグリング部	
	アクセス	(1) 京王電鉄京王線南平駅下車 徒歩10分 (2) (3)				学校評価									「良好な人間関係」「充実した学校生活」「学校生活の満足度」は高い。			
本学情報	学 科	普通科				入	募集人員									推薦:男子33人・女子30人、一般:男子133人・女子121人		
	在 籍 数	生徒数 958名 (男子504名 女子454名)					学 生 選 抜	29年度入学生	推薦	男子	1.94	30年度入学生	推薦	男子	2.24	31年度入学生	推薦	男子
教育課程の特徴	ノーチャイム制、三学期制、50分授業 月・水～金6時間授業 火曜日7時間授業、習熟度別クラス編成(数学、英語)、少人数クラス(体育)、国公立・難関私大対応へ教育課程編成改訂				学 力 検 査	女子				2.87	女子			3.07	女子			1.77
ホームページ	http://www.minamidaira-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算 30年度(単位:万円)				2,359		その 他 特 徴									
その他	都教育委員会指定 「アクティブ・ラーニング推進校」		校 服	制服		男子 プレザー(紺)、ズボン、ネクタイ 女子 プレザー(紺)、スカート、ズボン、ネクタイ、リボンタイ		主な学校行事									合唱コンクール(6月)、葵陵祭(9月:文化祭、体育祭)、修学旅行(10月2年)	

目指す学校 **「高い志を抱き、真摯に取り組み、進路を切り開く」 ～深く豊かな知性と幅広い人間性～
これからの社会を担える人間の育成**

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目 標 ①	学力向上「わかるからできるへ、授業の質の向上」 ①すべての生徒の学力・体力向上を目指した、組織的・計画的な学習指導体制の充実 ②教科主任会を中心とした組織的・計画的な教科会での研修活動の充実	①西部学校経営支援センター「特別指定校」、東京都教育委員会「アクティブ・ラーニング推進校」の成果として、教科主任会を中心に、「生徒の頭、心が(実技では体も)50分間活動し続ける授業」を合言葉に、学校全体での授業力向上を目指した。生徒による授業評価では、全般的に肯定的評価が高かった。 ②若手・中堅教員研修はもちろん、教科主任会で、予備校研修、指導教諭の授業参観、英語教育中央還元研修等への参加を呼び掛け、参加者は各教科会への還元を行った。また、中学校と連携した研究授業も行い、指導力の向上につながった。	
目 標 ②	進路実現「高い志に向けてチャレンジさせる指導」 ①進路指導部による教科・学年と連携した計画的・組織的なキャリア教育の推進による生徒の進路実現 ②データの活用、外部機関との連携による情報収集と進路指導力の向上	①進路指導部作成の「進路指導計画」に基づき、進めている。教員全員体制の長期休業中の補習・講習、平日19時まで、土曜日対応等自習室開設の充実を図っている。また、NPO法人と連携した「大学模擬授業」、2年生からの5教科模試、進路適性検査R-CAP等を採用入れ、進路指導のガイダンス面と受験面の両面の充実を図った。 ②進路指導部や担任以外も生徒個々の実力テストの結果を共有できるように、全教員のPCに実力テスト分析ソフトを入れ、テスト結果を活用できるようにしている。卒業生、大学教授、予備校関係者、ボランティア教員等を活用している。また、4技能を伸ばすための教材の採用、スピーキングテストの導入など大学入試改革への対応を図った。	
目 標 ③	心・知・体を磨く「学校生活全般に渡って、濃やかな指導」 ①生活指導統一基準による自己管理能力向上と規範意識・マナー育成 ②部活動と学校行事の充実 ③人権教育と道徳教育の推進、教育相談の活用によるいじめ防止、生徒の心のケア、個別の支援教育 ④環境・美化指導の推進 ⑤安全・健康の指導体制の充実	①セーフティ教室、身だしなみ・遅刻指導等を通じて、規範意識やマナーの向上が図れた。 ②部活動保護者会で保護者の理解を得て各部の活動を行った。準備段階から工夫を重ね、生徒が主人公の学校行事であった。 ③スクールカウンセラー・大学講師・近隣の都立学校による研修、いじめアンケート、面談等を活用し健全育成を図った。 ④長年課題であった施設改修を行い、環境整備が推進できた。 ⑤「防災危機管理マニュアル」を全面改訂	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	家庭学習の習慣をつけさせ時間を増加させる(分)	83	83	85	94	90	71	85	90			
目標②	国公立・難関私立大学(MARCH以上)への合格者数(人)	250	210	220	134	200	117	150	168			
目標③	受験応募倍率を上げ安定させる(倍)	1.60	1.63	1.60	1.75	1.65	1.72	1.70	1.35			